

第2回経営計画推進委員会

（建設改良事業計画と財政推計）

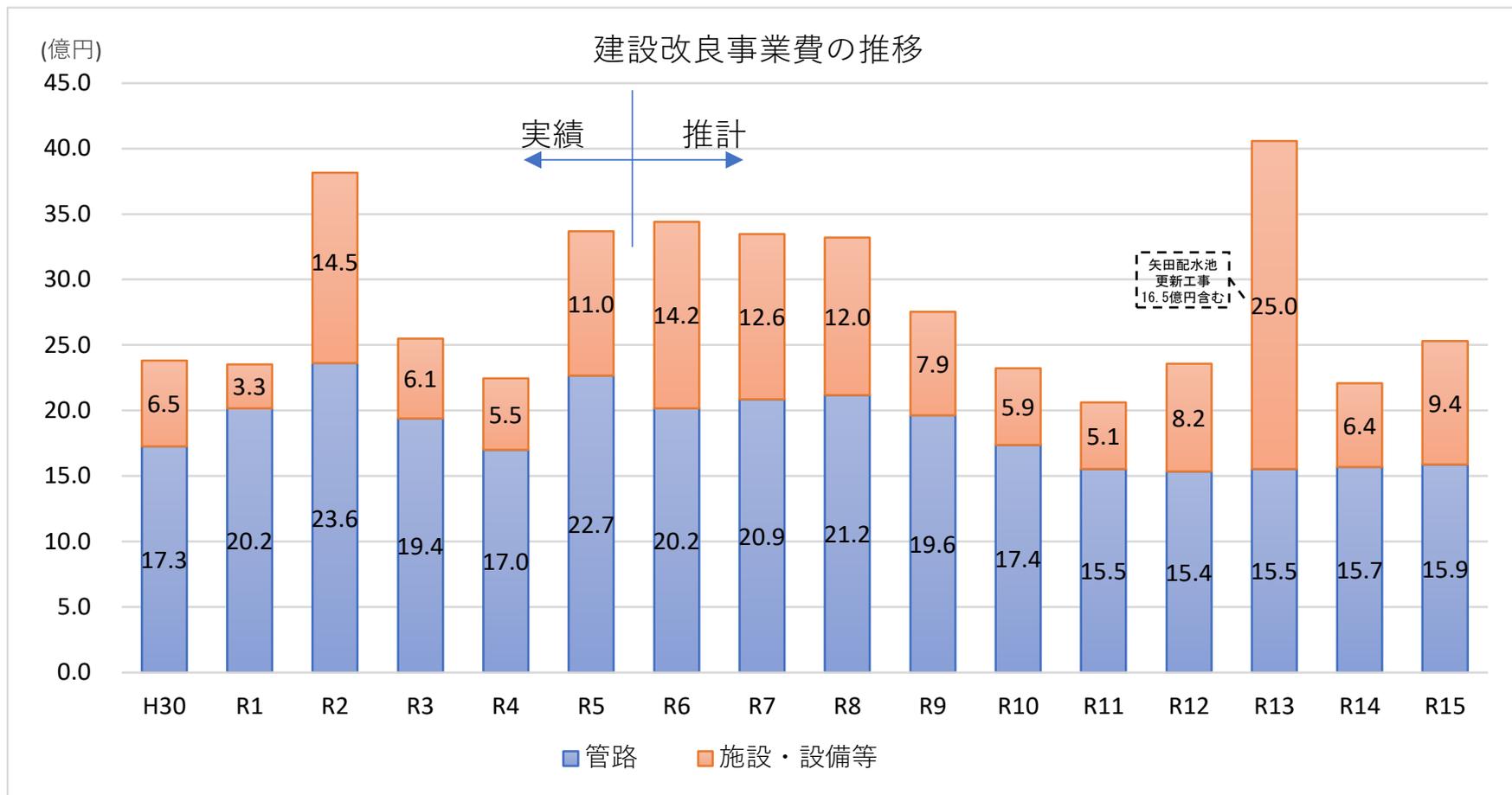
令和7年3月27日（木）
松江市上下水道局大会議室

①建設改良事業計画と財政推計

建設改良総事業費【284億円】（令和6～15年度）

○災害に強いまちづくり

※将来にわたり水道水を安定して供給するために必要な事業費



(令和6~15年度)

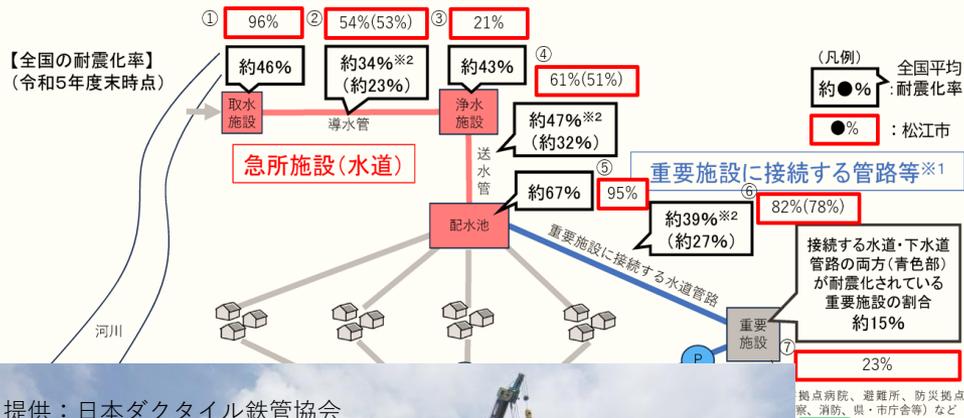
・ 水道管路の耐震化 【177億円】

基幹管路・防災拠点施設	71億円
老朽管更新等	73億円
公共工事に伴う更新	33億円

【老朽管更新】
高度経済成長期に布設された多くの水道管が、耐用年数を超えて漏水・断水リスクが高まり、更新の必要性が増大している



【松江市】上下水道施設の耐震化状況の緊急点検結果 (R6.11.1)



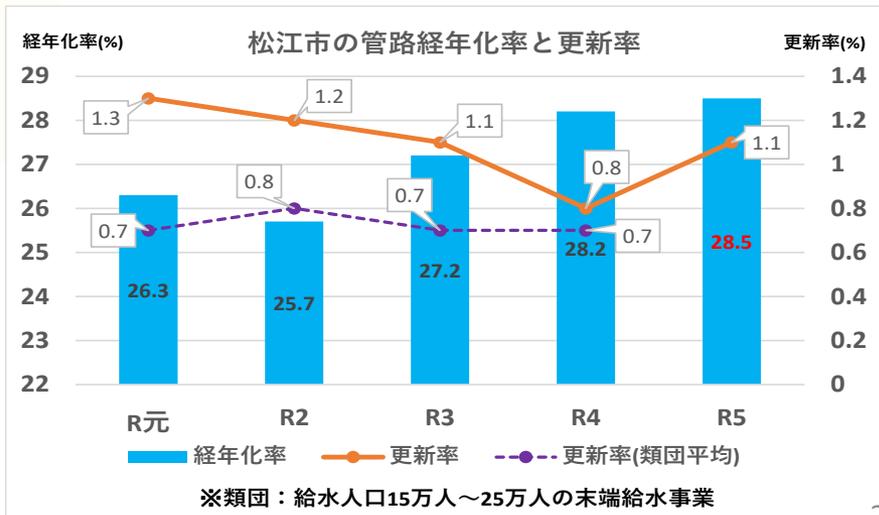
提供：日本ダクタイル鉄管協会



【耐震用ダクタイル鋳鉄管】
継手部分が伸び縮みして抜けにくい構造となっている鋳鉄製の水道管をいう

【配水用ポリエチレン管】
管自体に柔軟性があり、管と継ぎ手を電気で溶かして完全に一体化させる水道管をいう

【経年化率】
・ 全管路延長に占める法定耐用年数(40年)を超えた管路延長の割合
R5年度経年化率：28.5% (松江市)
※参考：R4経年化率 (類団平均) 24.8% (全国平均) 23.6% (中核市平均) 26.0%



(令和6～15年度)

・老朽施設の改良等【107億円】

忌部浄水場耐震化	15億円
矢田配水池更新	20億円
ポンプ場の機械設備更新他	72億円

忌部浄水場：大正8年完成



忌部浄水場耐震化事業

R3年度～R8年度

耐震化事業 1,822,700千円(継続費)

矢田配水池：昭和45年完成



矢田配水池改修更新事業

R元年度～R15年度

改修更新事業 2,081,700千円

・ 財政推計（水道事業収益的収支および資本的収支10か年計画）

R7年度以降も物価上昇が継続すると想定した財政推計

・ R7年度から収益的収支で赤字 ・ R11年度で内部留保資金が枯渇

■水道事業収益的収支10か年計画

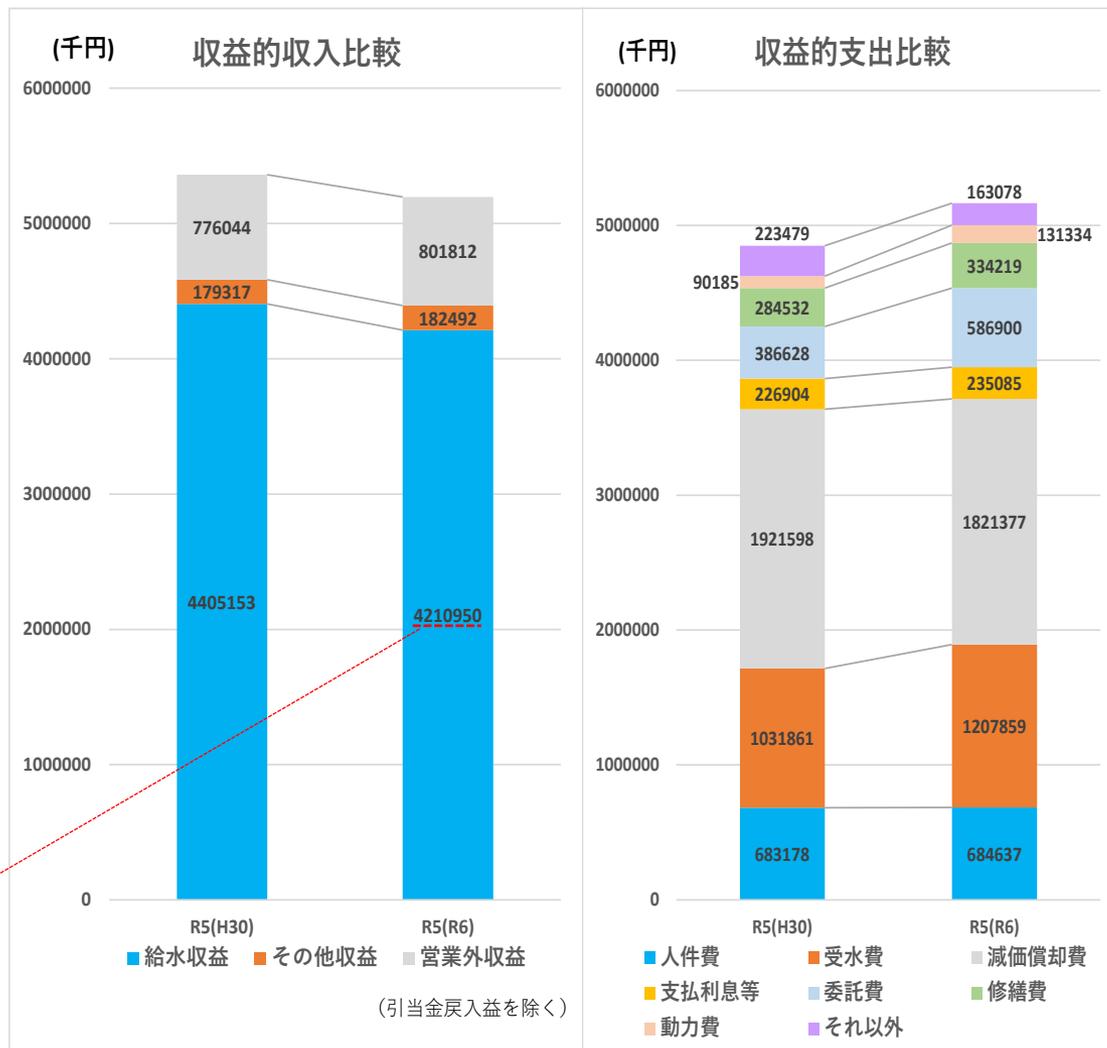
（単位：千円）

項目		R5決算	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
収益的収支	収入	営業収益	3,936,030	4,364,929	4,341,437	4,339,415	4,319,576	4,301,854	4,286,109	4,272,177	4,260,159	4,249,935	4,241,263
		給水収益	3,753,538	4,179,389	4,154,332	4,131,802	4,111,744	4,093,793	4,077,810	4,063,629	4,051,353	4,040,859	4,031,906
		その他収益	182,492	185,540	187,105	207,613	207,832	208,061	208,299	208,548	208,806	209,076	209,357
		営業外収益	1,563,320	915,674	749,449	754,598	652,201	707,355	667,265	670,550	691,366	675,569	823,422
		他会計繰入金	731,814	194,461	133,603	85,239	63,385	61,454	57,128	57,164	56,368	54,986	54,024
		長期前受金戻入益	503,606	528,046	519,164	521,203	532,443	542,435	547,811	557,310	578,757	564,243	566,278
		その他	327,900	193,167	96,682	148,156	56,373	103,466	62,326	56,076	56,241	56,340	203,120
	水道事業収益	5,499,350	5,280,603	5,090,886	5,094,013	4,971,777	5,009,209	4,953,374	4,942,727	4,951,525	4,925,504	5,064,685	
	支出	営業費用	4,929,404	4,937,968	4,970,235	5,204,893	5,164,062	5,214,799	5,249,260	5,240,028	5,334,928	5,315,626	5,539,309
		人件費	684,637	573,550	560,839	662,784	607,671	614,661	588,859	542,075	540,294	540,294	674,990
		委託費	586,900	577,984	628,679	668,882	689,631	695,133	713,808	722,975	729,815	737,819	747,025
		修繕費	334,219	308,252	285,011	304,985	301,667	310,594	318,324	322,514	325,462	329,666	392,706
		その他維持管理費	230,122	245,081	257,612	249,180	241,891	240,709	241,196	241,031	241,567	242,130	242,717
受水費		1,207,859	1,206,853	1,207,474	1,280,726	1,262,269	1,269,539	1,292,353	1,297,191	1,301,574	1,309,006	1,310,787	
減価償却費		1,885,667	2,026,248	2,030,620	2,038,336	2,060,933	2,084,163	2,094,720	2,114,242	2,196,216	2,156,711	2,171,084	
営業外費用		235,085	205,420	210,734	215,061	211,597	209,267	207,438	205,336	202,350	199,034	195,661	
支払利息等		235,085	205,420	210,734	215,061	211,597	209,267	207,438	205,336	202,350	199,034	195,661	
水道事業費用		5,164,489	5,143,388	5,180,969	5,419,954	5,375,659	5,424,066	5,456,698	5,445,364	5,537,278	5,514,660	5,734,970	
単年度純利益	334,861	137,215	△ 90,083	△ 325,942	△ 403,882	△ 414,857	△ 503,324	△ 502,638	△ 585,753	△ 589,156	△ 670,285		
内部留保資金残高	2,639,031	1,983,381	2,387,905	1,310,878	537,439	68,906	△ 421,564	△ 1,283,707	△ 3,837,279	△ 4,778,318	△ 5,995,511		
企業債残高	14,190,394	14,493,344	14,365,391	13,911,043	13,473,848	13,046,572	12,633,569	12,236,542	11,856,306	11,490,065	11,135,488		

R5決算では、原油価格・物価高騰対策として松江市一般会計から水道事業会計（他会計繰入金）に繰入し、給水収益から457,413千円を減免措置している

・ 財政推計（急激な物価高騰による経営状況の悪化）

※H30年当時のR5推計値【R5(H30)】と実際のR5決算値【R5(R6)】の比較



■ 給水収益
194,203千円減
(-4.4%)

□ 収益合計
165,260千円減
(-3.1%)

※R5(R6)給水収益は、
原油価格・物価高騰
対策のための料金減
免前の収益

■ それ以外
60,401千円減
(-27.0%)

■ 動力費
41,149千円増
(+45.6%)

■ 修繕費
49,687千円増
(+17.5%)

■ 委託費
200,272千円増
(+51.8%)

■ 受水費
175,998千円増
(+17.1%)

□ 費用合計
316,124千円増
(+6.5%)

(引当金戻入益を除く)

②経営効率化の取り組み

経営計画に基づく各種施策の実施により、収益確保及び費用縮減に取り組んでいる

これまでの取組内容	取組効果
・施設監視システムをベンダーフリーのオープン型システムとして再構築	システム更新費用の縮減【4億8千万円の削減】 保守メンテナンス費用の縮減【年間600万円の削減】
・事務見直しによる定員・人件費管理の適正化	業務の効率化による人件費の縮減【1億2千万円の削減】 (H29) 114名 ⇒ (R5) 87名
・施設の統廃合	H30年度以降20施設を廃止 ライフサイクルコストの削減【年間4,735万円の削減】
・施設管理業務の民間委託	人件費等の縮減【年間1,260万円の削減】
・再生可能エネルギーを利用した自家用発電設備の設置・運転	小水力発電・太陽光発電設備の導入により動力費を縮減【年間800万円の削減】
・地下水利用事業者への水道利用への転換促進	給水収益の増加【年間700万円の増加】 ※水道利用促進するが給水料金の一部を減額措置
・口座振替日の統一及び再振替の実施	事務の軽減 通知書発行件数減少【年間200万円の削減】

今後の新たな取組内容	取組効果
・給排水設備工事申請のWEB化	申請者の事務手続き軽減、進捗管理の効率化
・工事立会受付、申請のシステム化	受付業務・申請業務の軽減、無届工事の抑止
・照明器具のLED化	脱炭素社会の推進、電気料金の縮減

③他都市との比較

給水区域内人口密度（人/ha）

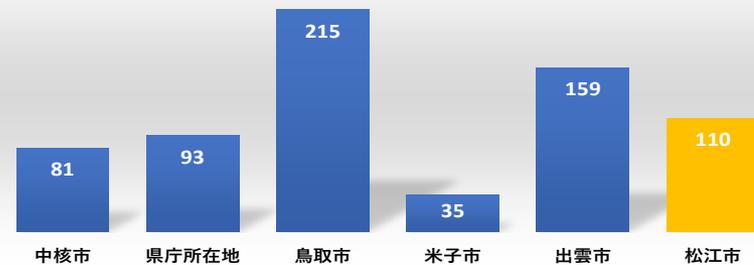


給水区域 1 ヘクタール内にどのくらいの人がいるかの数値

県庁所在地が最も多く35人。松江市は9人。

給水区域のなかで給水対象が点在しているため、事業効率が低くなっている。

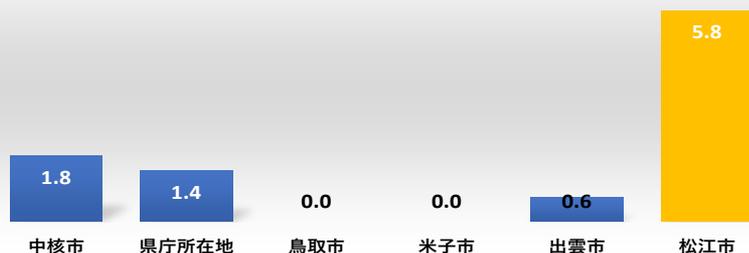
浄水場・配水池数（箇所）



浄水場と配水池の数の比較

松江市には110箇所あり、中核市や県庁所在地よりも多い。起伏のおおい地形などから配水池などの施設が必要。

給水人口一人当たり受水費（千円）



給水人口一人当たりの受水費の比較

松江市は水道水源に乏しく、自己水源が2割、島根県から購入する水（受水）が8割。

他と比べると受水している割合が多いため、受水費の影響が大きくなる。

基幹管路の耐震適合率（％）



重要な管路に対する耐震化の比較

松江市は62.7%で中核市、県庁所在地よりも高く、重要施設に接続する管路を中心に耐震化に取り組んでいる。

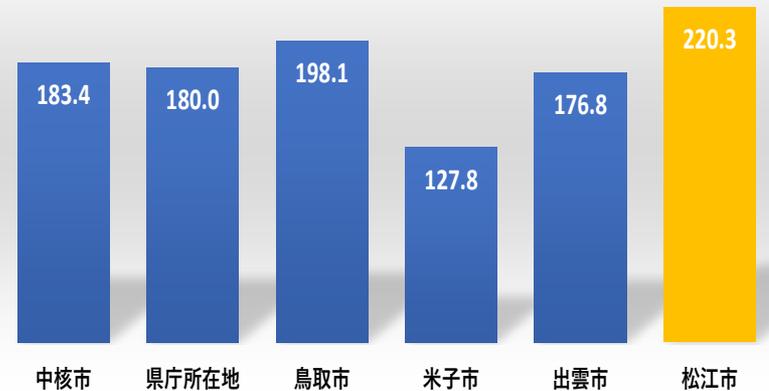
有収水量に対する資本費（円/m³）



設備や施設の整備に係る経費の比較

松江市は114円。中核市や県庁所在地に比べて高い。施設が多く、受水にかかる資本費も加わり高くなっているが、管路耐震化の積極的な推進も影響している。

給水原価（円/m³）



水道水 1 m³を給水するために必要な経費

松江市は220.3円で、中核市や県庁所在地と比べてもコストがかかっている。区域内の人口が少なく、地形的に施設が多く必要で、受水割合なども要因となる。

■全国の料金改定状況（松江市上下水道局調べ）

※カッコ内は平均改定率

	R6年度	R7年度	R8年度
県庁所在都市 ・中核市	岡山市(15.7) 豊田市(5.5) 神戸市(14) 倉敷市(10) 新潟市(29) 豊中市(8.9) 甲府市(9.37)	山口市(15) 和歌山市(17.8) 宮崎市(9) 姫路市(12.1) 岐阜市(9.58) 那覇市(12.6) 名古屋市(11.2) 岡崎市(9.7)	松江市(26.02) 松本市(20.11)
上記以外の 市町村	山鹿市(25) 宝塚市(19) ふじみ野市(23.4) 五ヶ瀬町(35) 城陽市(22.9) 黒部市(13) うるま市(8.55) 諏訪市(16.79) 松前町(25) 仙北市(9/26.95)	津和野町(15/40) 斐川宍道(13) 雲南市(5.07) 久御山町(16.9) 豊見城市(26.4) 江南市(9.4) 別府市(15) 戸田市(33.66) 松崎町(44) 沼田市(28) 宇治田原町(21.3) 玉村町(20) 綾町(63) 稲美町(15) 習志野市(23.68) つくば市(15) 島原市(14.5) 倉吉市(20) 南国市(22) えびの市(30.09) 四街道市(36) 神戸町(20) 上田市(18.5) 弘前市(10.9) 愛知中部(20.4) 南足柄市(23) 西尾市(15) 敦賀市(20)	大田市(15/20) 秩父広域(51) 岩倉市(30)

R9年度：吉賀町(30)